

第5回 安曇野市緑の基本計画推進協議会 次 第

日 時 令和5年7月20日（木）
10時から
場 所 安曇野市役所本庁舎3階
理事者側控室

1.開会

2.あいさつ

3.議事

(1) 緑の基本計画について
取り組みと課題

(2) 専門会議について

①今年度のスケジュール

②専門会議の進め方

③グループごと意見交換

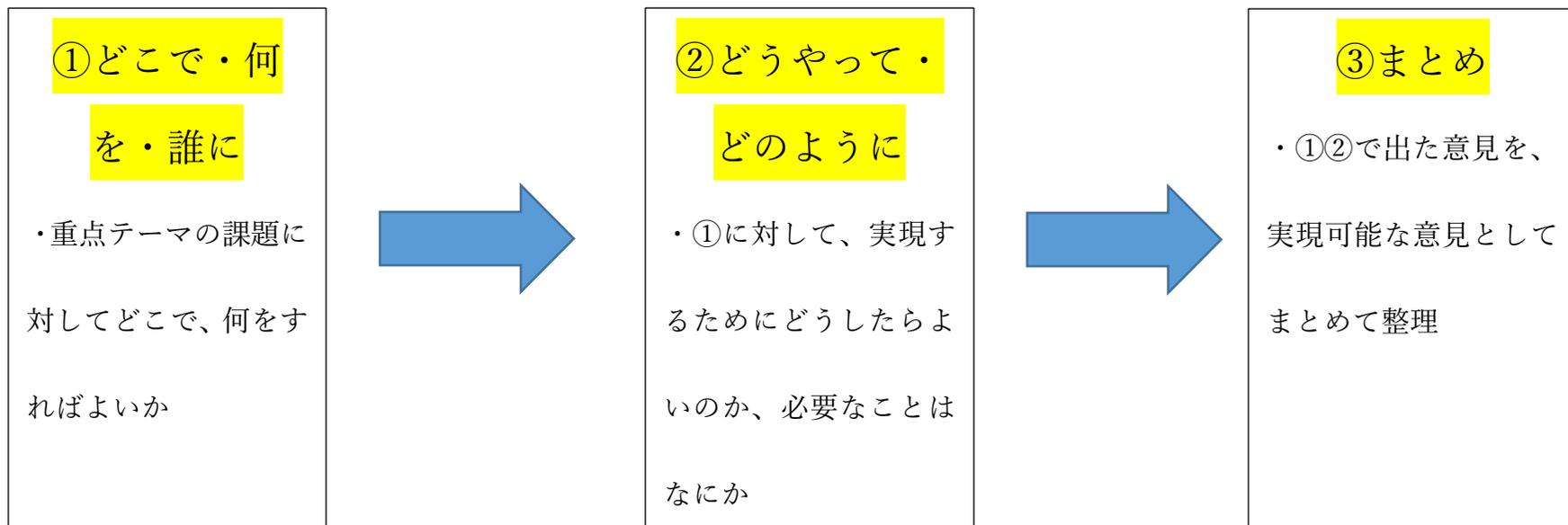
4.その他

5.閉会

重点テーマ1・2グループ	重点テーマ3・4グループ
取り組みと課題	
<p>1. (公園の再生)</p> <p>①都市公園の新規整備の検討</p> <p>新規公園・既存公園の整備方針の検討→公園の少ない地域の意向確認</p> <p>②まちなか拠点公園の育成と再整備</p> <p>地域ニーズに対応した拠点公園の整備方針の検討</p> <p>→区や愛護会など受け手側の意向確認</p> <p>③時代変化に応じた公園機能改善</p> <p>公園の実情を踏まえたユニバーサルデザインの調査研究→様々な利用者への環境改善</p>	<p>3. (緑地を活かした恵みを感じる活動)</p> <p>⑧地域の公園として活用している情報の発信→情報収集し発信、情報共有による公園利用の活性化</p> <p>⑨緑の恵みを感じることでできる講座の開催</p> <p>将来公園等に係る人材、担い手の確保</p> <p>→公園ボランティア、アドバイザーの育成と活動拠点の整備</p> <p>4. (身近な緑の育成事業)</p> <p>⑩身近な樹林保全のための制度等の検討</p> <p>失われつつある樹林等の保全→保全活動の支援策</p>

<p>2. (緑化の推進)</p> <p>④既存並木道景観の整備</p> <p>管理が行き届かない市内の街路樹や緑地帯→良好な景観を取り戻すために必要な取り組みの検討</p> <p>⑤まちなか拠点の沿道緑化</p> <p>緑化を支えるシニアボランティアの減少と公共の緑化基準の平準化→シニアボランティアの育成と公共緑化基準の設定</p> <p>⑦住宅地の緑化推進</p> <p>市民による緑のまちづくりに対する積極的な参加→花の種銀行の検討、緑のカーテン等普及啓発活動の実施</p>	<p>の検討、記念樹種の再検討</p> <p>⑫剪定木の再資源化事業</p> <p>市民が緑の管理に掛かる負担→剪定木の受け入れ、再資源化への取り組みの検討</p> <p>⑬参加型の新たな緑の名所づくり</p> <p>緑の名所を長峰山へ→多くの市民参加を進める仕組みづくりの検討</p> <p>⑭緑の相談窓口機能の確保</p> <p>公設による緑の相談窓口の開設→専門家による緑化アドバイザーの選定</p> <p>⑮安曇野ふるさとみどり基金の創設</p> <p>基金創設の是非の検討→基金の目的、必要性等討</p>
---	---

専門会議の流れ



- ・ 専門会議は、前回の協議会にて行った班ごとに行います。
- ・ ①→③に向けて、ある程度時間を区切ってWS形式でご意見をいただきます。
- ・ 主に「資料1」の赤字の項目に対するご意見をいただきます。

専門会議 班分け

【重点テーマ 1 ・ 重点テーマ 2】	【重点テーマ 3 ・ 重点テーマ 4】
佐々木会長、百瀬副会長、伊藤委員、加部委員 (県職員菅原係長)	高木委員、磯野委員、太田委員、中田委員

安曇野市緑の基本計画推進委員

任期: 令和4年7月8日～令和6年7月7日

	氏名(敬称略)	区分	備考
1	佐々木 邦博	学識経験者	
2	高木 一寿	諸団体の代表者	
3	伊藤 義典	諸団体の代表者	
4	加部 麻子	市長が必要と認める者	
5	百瀬 陽子	市長が必要と認める者	
6	磯野 康子	市長が必要と認める者	
7	太田 正子	公募	
8	中田 信一郎	公募	

専門会議の流れ

①どこで・何を・誰に

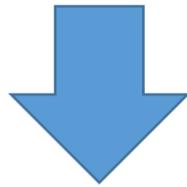
- ・重点テーマの課題に対してどこで、何をすればよいか

②どうやって・どのように

- ・①に対して、実現するためにどうしたらよいか、必要なことはなにか

意見を考える→フセンに記入・・・10分

意見を発表する→フセンを見ながら意見を発表、交換・・・20分



③まとめ

- ・①②で出た意見を、実現可能な意見としてまとめて整理
総括、意見のまとめ・・・10分

※事務局で会議録としてまとめたものを後日送付いたします。

